

## 改定計画の構成

項目	主な内容	改定の 有無	部会での審議		
			第1回 10/27	第2回 11/17	第3回 1/29
第1章 計画 の基 本事 項	1 計画の位置づけ	・条例18条の規定により策定する環境の総合計画 ・他の環境分野の個別計画と整合を図っている ・個別計画の着実な推進により目標実現を目指す	あり	済	済
	2 計画の役割	①環境行政を総合的に推進する ②市民にわかりやすく環境の状況をみせる	あり	済	
	3 計画のこれまでの経緯	[策定経緯（計画期間・内容）を表で示す]	あり	済	
	4 改定の考え方	①総合的な環境行政の一層の推進 ・中長期的な方針を記載 ・取組姿勢の見直し ②SDGsの考え方の導入 ③「環境教育・学習」を環境施策の土台として位置付け ④生物多様性横浜行動計画を統合 ⑤「環境教育・学習」を環境施策の土台として位置付け	あり	一部済 (①)	一部済 (②③ ④) 資料 2,3,4に て審議 (①⑤)
	5 計画期間	「横浜市基本構想」と合わせた2025年度まで	あり	済	
第2章 計画 を取り 巻く 状況	1 市民の環境に関する意識	・横浜の環境の現状について、市の環境施策への満足度と要望など（環境に関する市民意識調査）	あり	—	—
	2 環境を取り巻く社会の状況	(1)環境問題の多様化、複雑化 ・パリ協定採択、SDGsを含む2030アジェンダ採択、環境教育の重要性の高まりなど (2)環境と人・地域社会 ・少子高齢化の進行、担い手の減少、地域コミュニティの希薄化など (3)環境と経済 ・IoTの急速な普及、中小企業の振興など (4)環境とまちづくり ・自然災害の増大、まちの再生が進展、都市	あり	済	
第3章 横浜 が目 指す 将来 の環 境の	1 横浜が目指す将来の環境の姿	・温室効果ガスの排出が大きく削減している低炭素なまち ・身近に多様な生き物を感じられる、水とみどり豊かな自然環境があるまち →これらの環境への取組により、市内経済活性化、まちの魅力づくりなどに大きく貢献 [地域ごとの将来の姿イメージ]	なし	済	

項目	主な内容	改定の 有無	部会での審議		
			第1回 10/27	第2回 11/17	第3回 1/29
第4章 環境 行政 の展 開	1 計画の体系	①「環境教育・学習」を環境施策の土台として位置付け ②現計画の体系図中に「基本的な考え方」、「取組姿勢」を追加	あり		資料3にて審議
	2 環境行政の基本的な考え方	・自然と人との共生を目指す ・横浜らしいエコライフスタイルの定着	なし	済	
	3 横浜が目指す将来の環境の姿の実現に向けた取組姿勢	①環境を基軸とした総合的な施策の推進 ②市民、企業などの主体性発揮に向けた取組の推進 ③防災、減災の視点を取り入れた環境施策の推進	あり		資料4にて審議
	4 本計画とSDGsとの関係	・すでに前計画でSDGsの考え方と同じ方向性で進めている ・本計画でも総合的な環境施策を推進することがSDGsの貢献にもつながる [本市の環境施策とSDGsの関連表を示す]	新規	済	
第5章 総合 的な 視点 によ る基 礎	1 環境と人・地域社会	・2025年度までの環境目標、取組方針、現状と課題、主な取組	あり		資料5にて審議
	2 環境と経済				
	3 環境とまちづくり				
第6章 環境 側面 から の基 本施 策	1 地球温暖化対策	・2025年度までの環境目標、達成の目安となる環境状況、取組方針、現状と課題、主な取組	あり		資料6,7にて審議
	2 生物多様性				
	3 水とみどり				
	4 都市農業				
	5 資源循環				
	6 生活環境				
	7 環境教育・学習				